

税理士試験に合格するための学校 [問題集] 相続税法Ⅱ 【平成28年度版】 (2015年12月29日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2016. 1. 21

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
13-4	問題1	長女B <u>非居住無制限納税義務者</u> $100,000+25,000=125,000$ 解説 ② 被相続人甲が日本国内に住所を有しているとみなされることより、 <u>配偶者乙、長男A及び長女B</u> はいずれも非居住無制限納税義務者となります。	長女B <u>制限納税義務者</u> $100,000$ <u>カナダ国債は、制限納税義務者が取得した国外財産のため課税対象外</u> 解説 ② 被相続人甲が日本国内に住所を有しているとみなされることより、 <u>配偶者乙及び長男A</u> はいずれも非居住無制限納税義務者となります。	2016. 1. 21
13-4	問題2	二男B <u>非居住無制限納税義務者</u> $10,000+20,000=30,000$ 解説 ② 被相続人甲が日本国内に住所を有しているとみなされることより、 <u>配偶者乙、長男A及び二男B</u> はいずれも非居住無制限納税義務者となります。	二男B <u>納税義務を負わない</u> 解説 ② 被相続人甲が日本国内に住所を有しているとみなされることより、 <u>配偶者乙及び長男A</u> はいずれも非居住無制限納税義務者となります。	2016. 1. 21

ISBN978-4-7810-3553-6 C1034¥2400E